

〈レディブティック2021年8月号掲載〉

フレアスリーブの カットソー

使用するミシン・アタッチメント

4本糸ロックミシン
カバーステッチミシン
あればカバーステッチミシン用透明押え

ミシンの設定は生地によって異なりますので、必ず試縫いをして調整して下さい。

材料

ストレッチ	135cm幅	Mサイズ:1.7m
パウダーツイル		LLサイズ:2.1m
ニット用接着芯	90cm幅	30cm
ウーリースピンテープ		50cm
ウーリー糸		1本
熱接着仮止めテープ <small>または</small> 仮止めのり		適宜

出来上がりサイズ

Mサイズ	LLサイズ
バスト：103cm	バスト：121cm
着丈：62.5cm	着丈：67cm



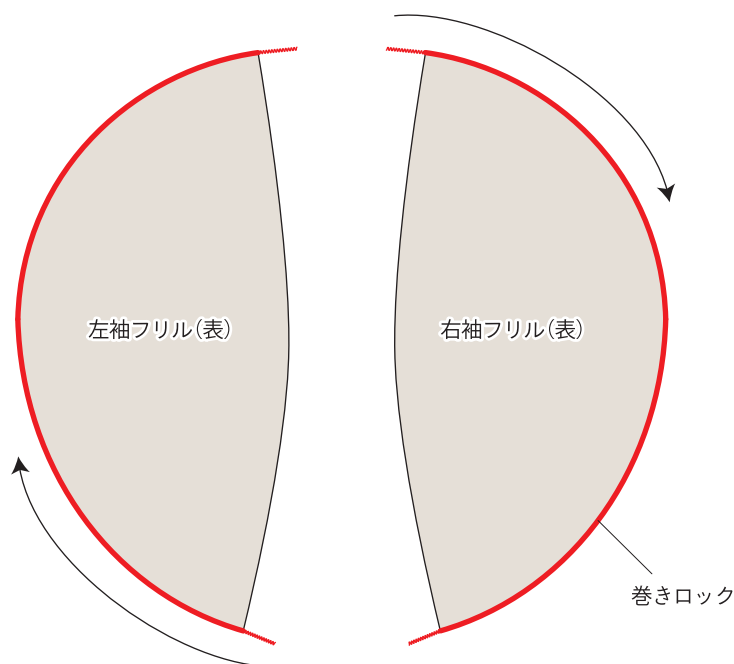
【下準備】 見返しの裏面に接着芯を貼る。

1.袖フリルの端に巻きロックをかける

変形巻きロック	差動N	かがり幅M	送り目0.75
---------	-----	-------	---------

※上ルーパーにウーリー糸使用

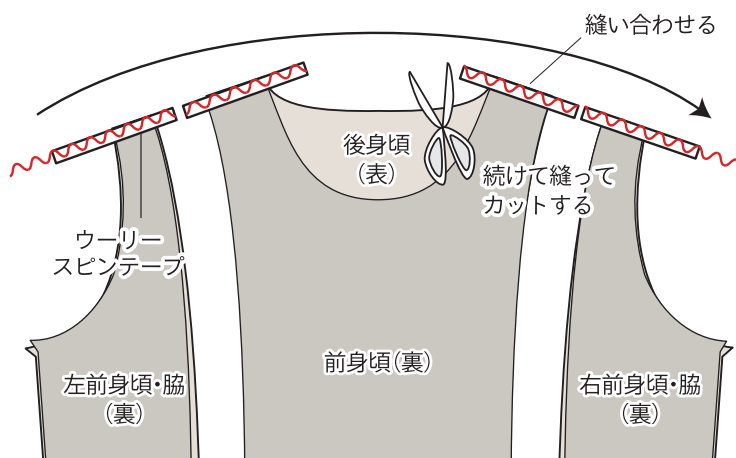
袖フリルの端に巻きロックをかけます。生地端はカットせずに(毛羽を落とす程度)縫います。



2.肩を縫い合わせる

2本針4本糸ロック	差動N	かがり幅7.5	送り目2.5
-----------	-----	---------	--------

前身頃と後身頃、前身頃・脇と後身頃・脇(左右とも)をそれぞれ中表に合わせて、前身頃を上にしてウーリースピニングテープを入れながら肩線を縫い合わせます。図のように続けて縫って切り離します。縫い代は後身頃側に倒します。

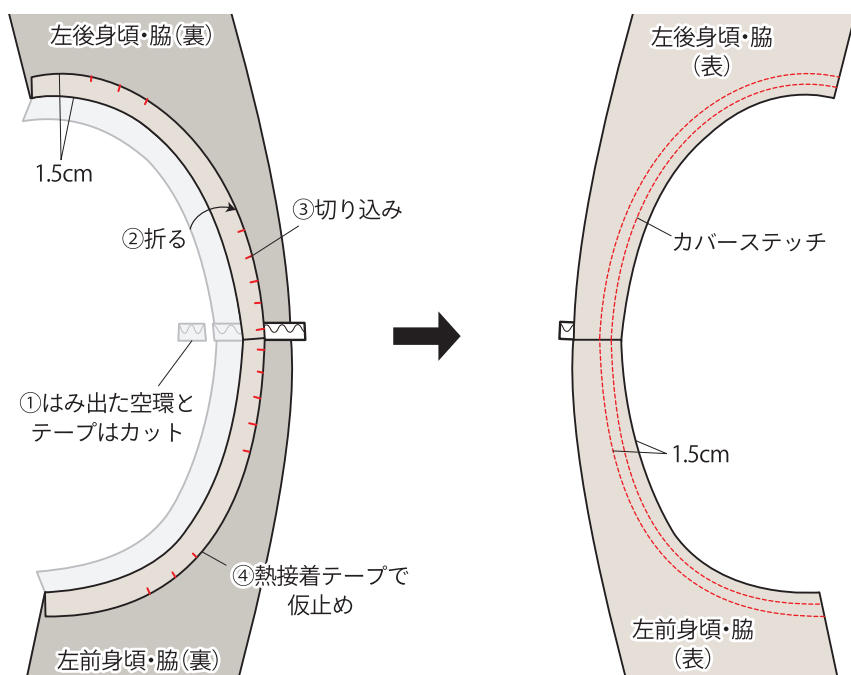


3.袖ぐりの始末

カバーステッチ	左・右の2本針使用(針間6mm)	差動N	送り目3
---------	------------------	-----	------

※縫い目が盛り上がる場合はルーパーの糸調子を弱める

袖ぐりを縫い代分1.5cm裏側に折ります。きれいに折れない場合は縫い代の端に4mm位の深さの切り込みを入れます。熱接着テープや仮止めのりで仮止めします。表面を上にしてカバーステッチをかけます。



4.身頃と袖フリルを縫い合わせる

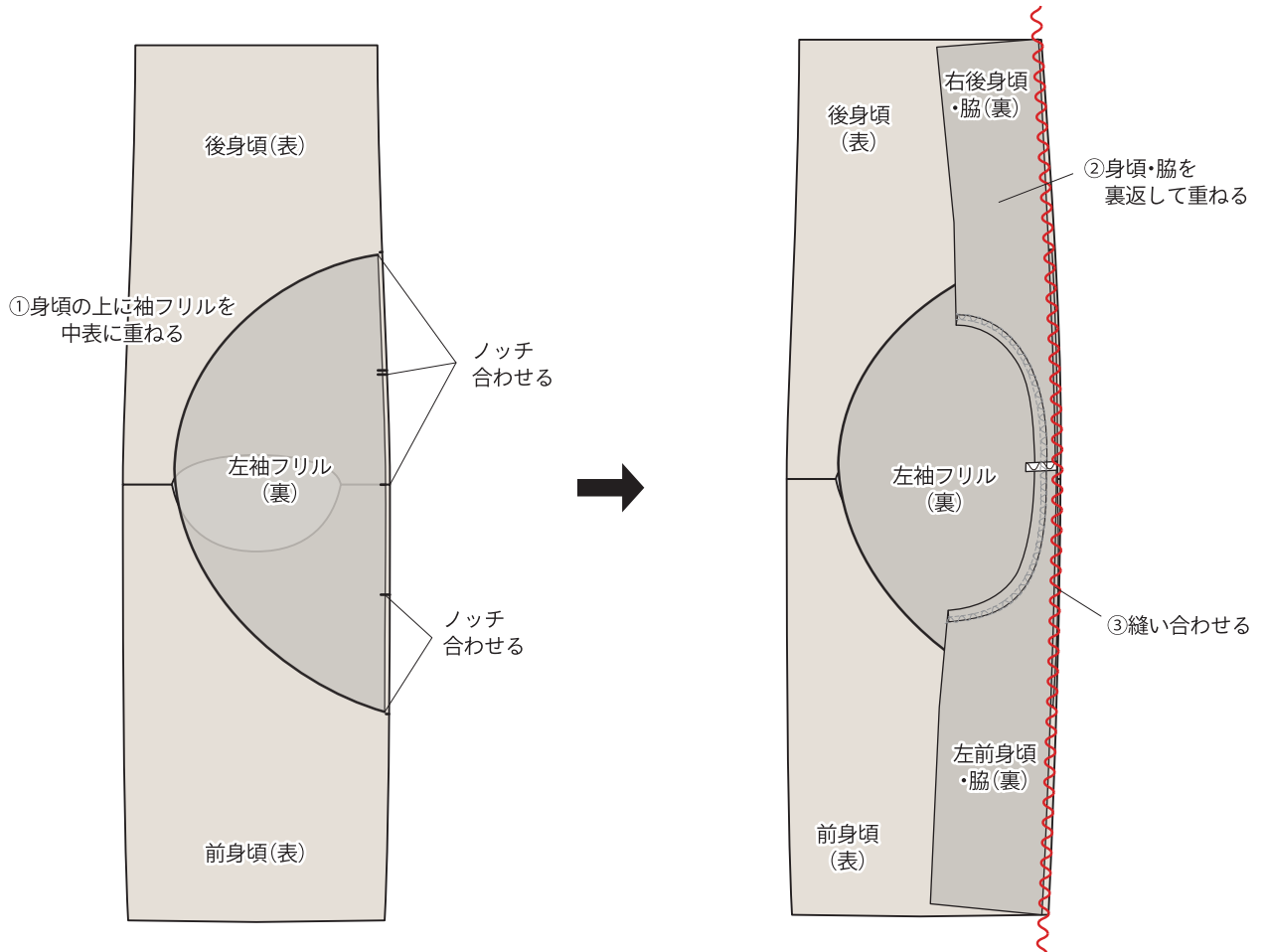
2本針4本糸ロック

差動N

かがり幅7.5

送り目2.5

身頃と袖フリルをそれぞれノッチを合わせて、中表に合わせます。その上に身頃脇を裏にして合わせます。3枚一緒に縫い合わせます。縫い代は身頃側に倒します。反対側も同じように縫います。※左右を間違わないように注意



5.見返しをつくる

2本針4本糸ロック

差動N

かがり幅 7.5 ※周囲5.5

送り目2.5

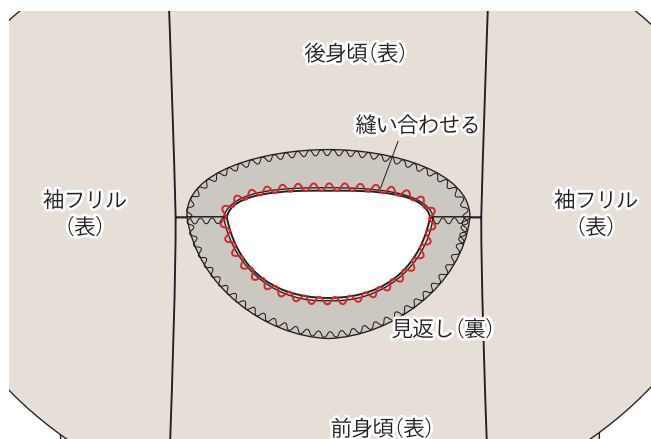
前見返しと後見返しを中表に合わせて、肩線を縫い合わせます。縫い代は前身頃側に倒します。かがり幅を5.5に変更して、見返しの周囲を表から縁かがりします。



6.見返しをつける

2本針4本糸ロック	差動N	かがり幅7.5	送り目2.5
-----------	-----	---------	--------

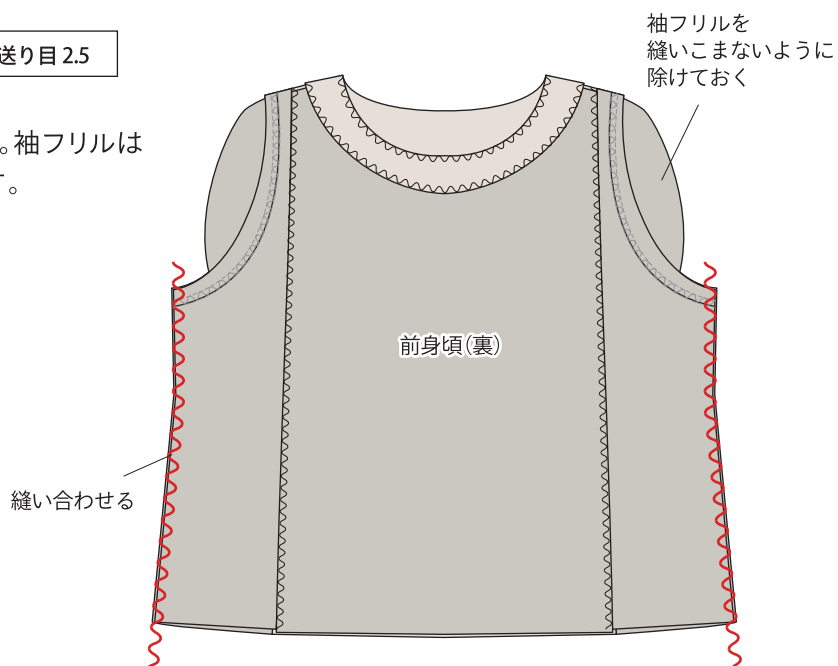
見返しと身頃の衿ぐりを中表に合わせ、見返しを上にして縫い合わせます。縫い終わりは2~3cm重ね縫いします。表に返して見返しを1mm控えてアイロンで整えます。



7.脇を縫い合わせる

2本針4本糸ロック	差動N	かがり幅7.5	送り目2.5
-----------	-----	---------	--------

身頃の脇を中表に合わせて縫い合わせます。袖フリルは間違えて縫いこまないように除けておきます。縫い代は後身頃側に倒します。



8. 裾の始末

カバーステッチ

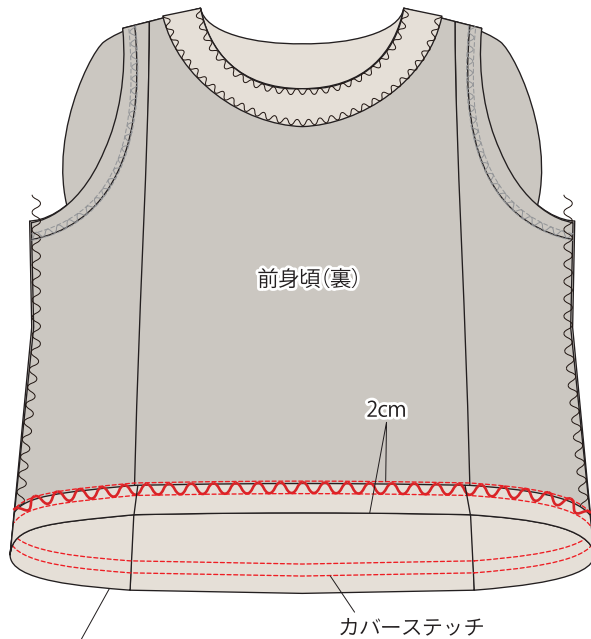
左・右の2本針使用(針間6mm)

差動N

送り目3

※縫い目が盛り上がる場合は
ルーパーの糸調子を弱める

裾を縫い代分2cm折り上げてアイロンをかけます。表側を上にして左脇の3cm後ろからカバーステッチをかけます。縫い終わりは2~3cm重ね縫いします。



アイロンで折り目が付きにくい場合は
数か所クリップでとめておく

9. 衿ぐりにステッチをかける

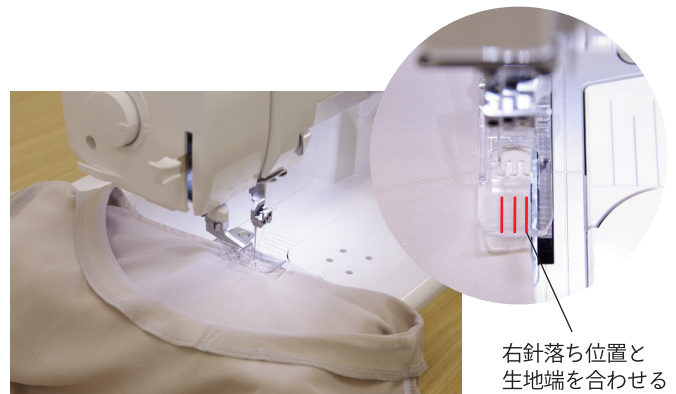
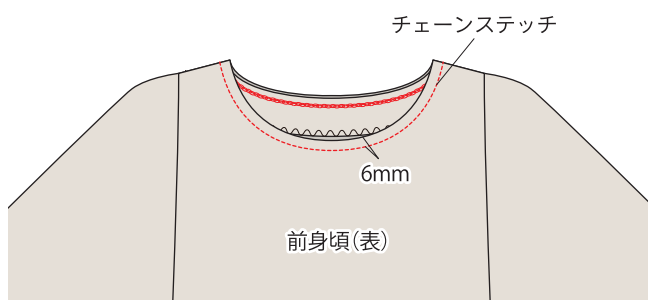
チェーンステッチ

左針使用

差動N

送り目3

衿ぐりの端から6mmのところから表からチェーンステッチをかけます。押えの右針落ち位置と生地端を合わせて、ガイドにして縫います。左肩から縫い始めて、縫い終わりは2cmくらい重ね縫いします。



10. 縫い代・空環の始末

4本糸ロックの空環はとじ針で縫い目の裏面に2~3cm位通して糸を切ります。
カバーステッチの糸は裏側でひと結びしてから裏の縫い目に2~3cm通して糸を切ります。
袖ぐり下の縫い代は後身頃側に倒し、手でまつりとめます。